

令和6年度

事業報告書

社会福祉人 津島市社会福祉協議会
社 会 福 祉
法 人

目 次

1 令和6年度決算資料

(1) 収入状況	1
(2) 支出状況	2
ア 人件費内訳	3
イ 事業費内訳	4
ウ 事務費内訳	5
(3) 基金・積立金残高の推移	
ア 財政調整基金	6
イ 福祉基金	7
ウ 退職給付積立金	7

2 令和6年度事業実施状況

法人運営事業	8
地域福祉推進事業	11
ボランティアセンター活動事業	13
共同募金配分金事業	14
法外援護事業	18
歳末たすけあい配分金事業	19
生活困窮者自立支援事業	20
生活福祉資金貸付事業	21
くらし資金貸付事業	22
生活支援コーディネーター事業	23
介護者派遣事業	25
日常生活自立支援事業	26
障がい者相談支援事業	27
障害福祉サービス事業	30
移動支援事業	31
居宅介護支援事業	32

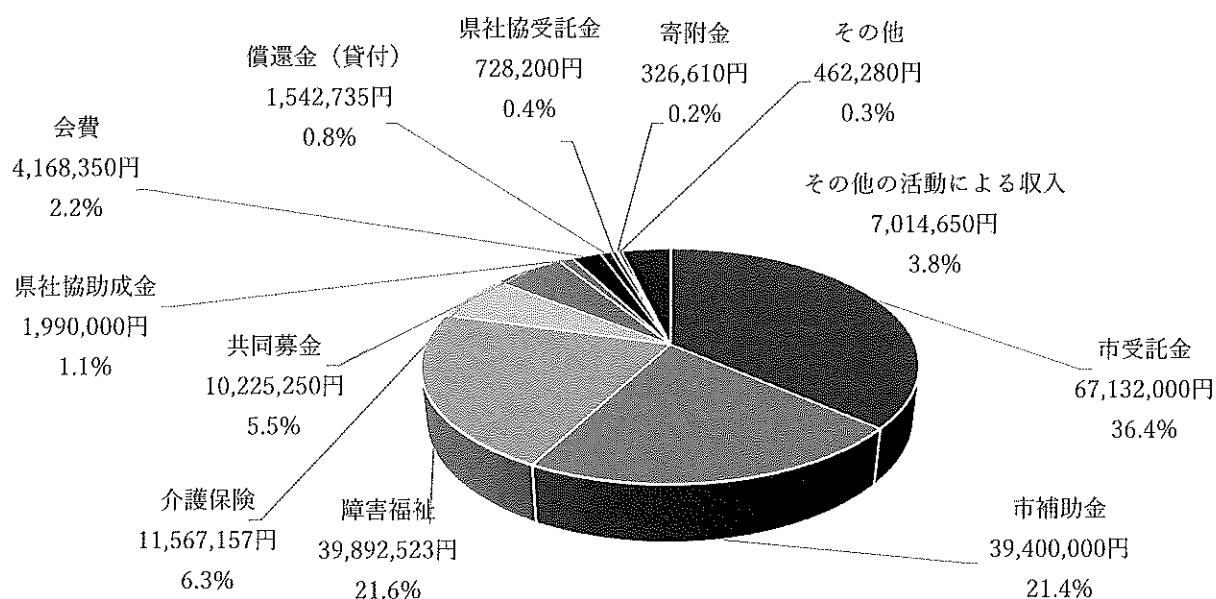
1 令和6年度決算資料

※本書内の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計と内訳の計は必ずしも一致しない場合があります。

(1) 収入状況

(単位：円)

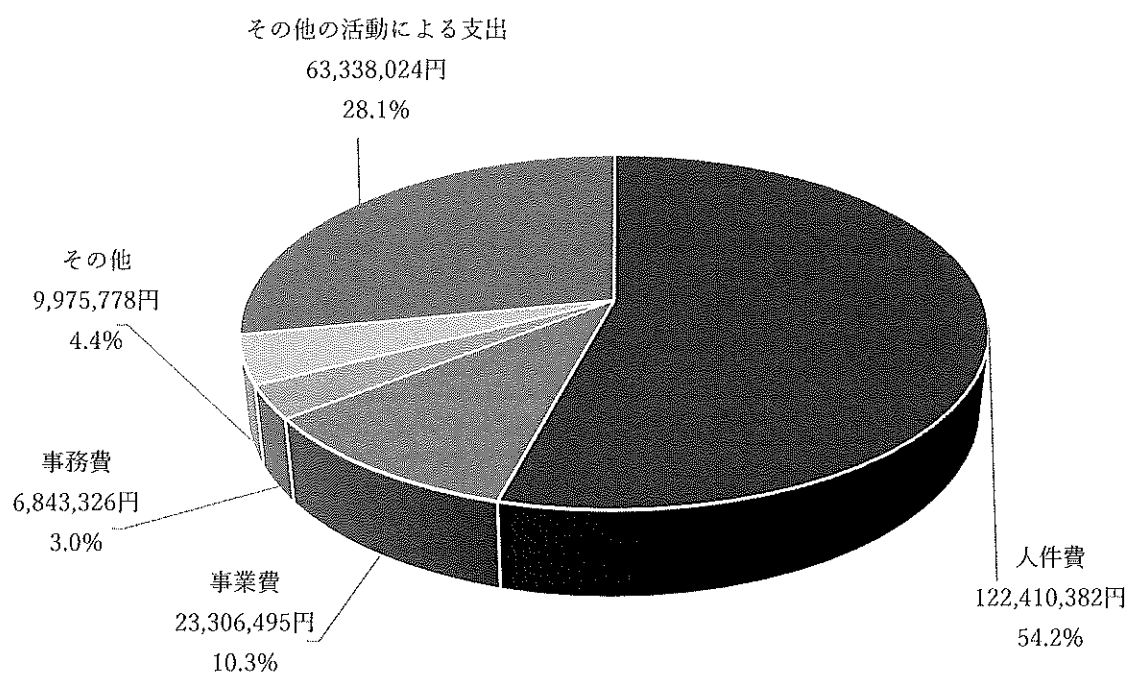
科目	予算現額	決算額	前年度決算額	前年度比
市受託金	67,132,000	67,132,000	58,310,600	8,821,400
市補助金	39,400,000	39,400,000	39,400,000	0
障害福祉	43,453,000	39,892,523	37,491,310	2,401,213
介護保険	13,486,000	11,567,157	23,810,865	▲ 12,243,708
共同募金	10,953,000	10,225,250	11,293,718	▲ 1,068,468
県社協助成金	10,321,000	1,990,000	54,000	1,936,000
会費	4,689,000	4,168,350	4,450,318	▲ 281,968
償還金（貸付）	2,100,000	1,542,735	1,108,843	433,892
県社協受託金	734,000	728,200	3,314,897	▲ 2,586,697
寄附金	100,000	326,610	117,466	209,144
その他	535,000	462,280	2,403,289	▲ 1,941,009
その他の活動による収入	6,545,000	7,014,650	1,648,592	5,366,058
前期末支払資金残高	63,293,000			
計	262,741,000	184,449,755	183,403,898	1,045,857



(2) 支出状況

(単位：円)

科目	予算現額	決算額	前年度決算額	前年度比
人件費	148,625,894	122,410,382	123,568,076	▲ 1,157,694
事業費	28,428,516	23,306,495	29,033,891	▲ 5,727,396
事務費	8,151,984	6,843,326	6,185,228	658,098
その他	13,519,665	9,975,778	11,719,797	▲ 1,744,019
その他の活動による支出	64,014,941	63,338,024	10,434,862	52,903,162
計	262,741,000	225,874,005	180,941,854	44,932,151

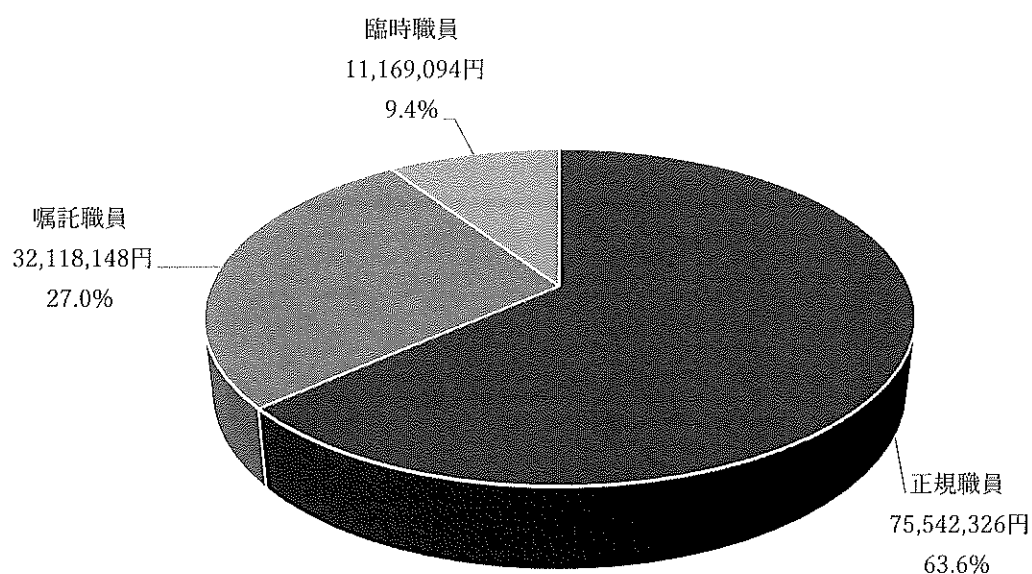


ア 人件費内訳

(単位：円)

区分	職員数 (R7. 3. 31)	決算額	職員数 (R6. 3. 31)	前年度 決算額	前年度比
正規職員	11 人	75,542,326	10 人	61,804,081	13,738,245
嘱託職員	9 人	32,118,148	11 人	44,339,943	▲ 12,221,795
臨時職員	15 人	11,169,094	17 人	15,588,386	▲ 4,419,292
計	35 人	118,829,568	38 人	121,732,410	▲ 2,902,842

※役員、派遣職員を除く。



正規職員の人件費が 75,542,326 円で全体の 63.6%を占めている。前年度より約 1,373 万円増額しており、職員数の増加及び給与体系の見直しをしたためである。

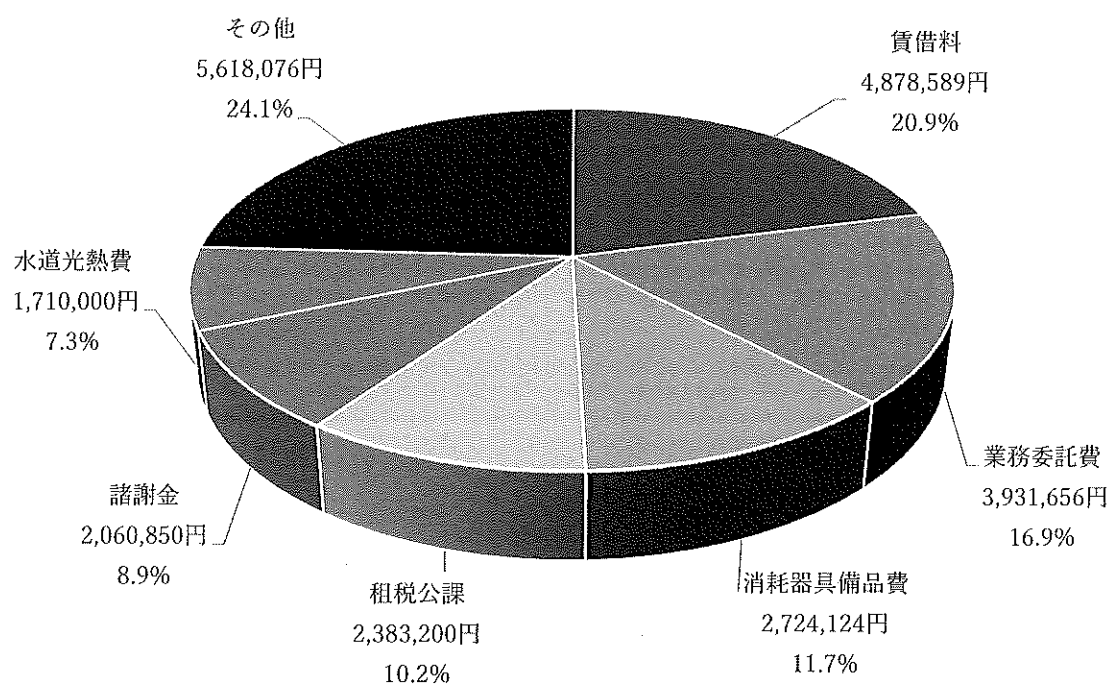
嘱託職員、臨時職員は職員採用ができなかったため減額している。

全体として約 290 万円減額となっている。

イ 事業費内訳

(単位：円)

科目	決算額	前年度決算額	前年度比
賃借料	4,878,589	5,899,698	▲ 1,021,109
業務委託費	3,931,656	3,851,324	80,332
消耗器具備品費	2,724,124	2,591,786	132,338
租税公課	2,383,200	8,000,600	▲ 5,617,400
諸謝金	2,060,850	1,760,900	299,950
水道光熱費	1,710,000	1,566,000	144,000
その他	5,618,076	5,363,583	254,493
計	23,306,495	29,033,891	▲ 5,727,396



賃借料が4,878,589円と前年度より約102万円減額しているが、パソコン等のリースを1年再リースしたことにより減額している。

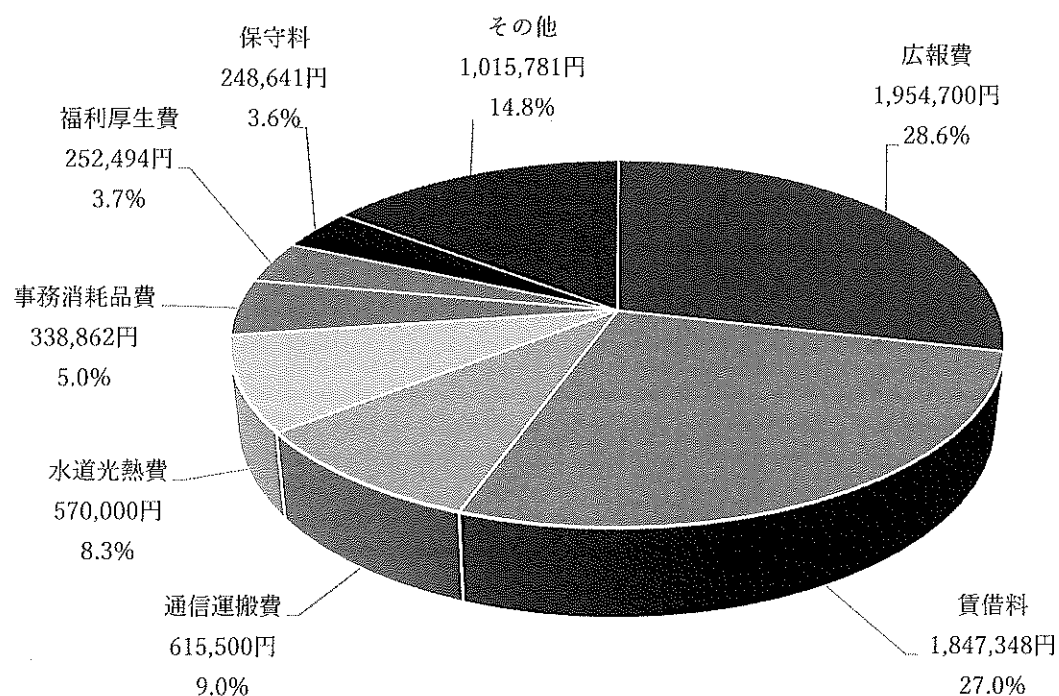
租税公課支出が2,383,200円と前年度より約561万円減額しているが、令和5年度に障がい者相談支援事業の消費税（平成30年度～令和4年度分）の納税をしており、令和6年度は1年度分の納税のため大きく減額している。

全体として約572万円の減額となっている。

ウ 事務費内訳

(単位：円)

科目	決算額	前年度決算額	前年度比
広報費	1,954,700	1,616,780	337,920
賃借料	1,847,348	1,702,386	144,962
通信運搬費	615,500	186,291	429,209
水道光熱費	570,000	522,000	48,000
事務消耗品費	338,862	266,805	72,057
福利厚生費	252,494	277,035	▲ 24,541
保守料	248,641	138,105	110,536
その他	1,015,781	1,475,826	▲ 460,045
計	6,843,326	6,185,228	658,098



ふくしだより等の広報費、会計ソフトやパソコン等のリースに係る賃借料の占める割合が大きく、全体の55.6%となっている。

賃借料は、令和7年1月よりネットワーク環境の再構築に伴い、電子機器のリース料金が増額したため約14万円の増額となっている。

全体としては約65万円の増額となっている。

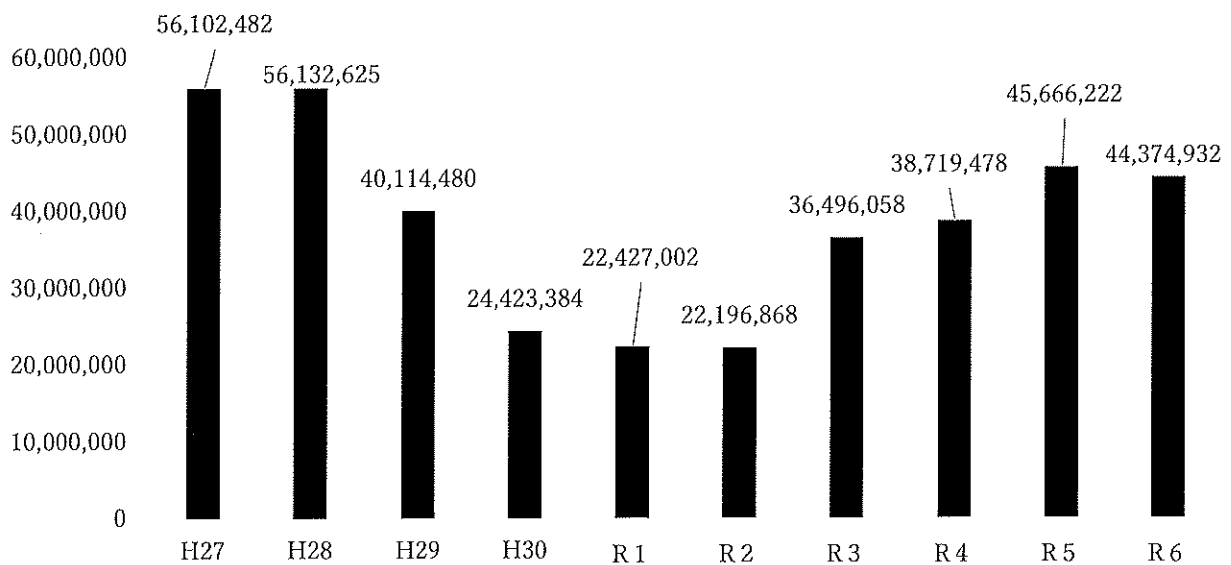
(3) 基金・積立金残高の推移

(単位：円)

基金	H27	H28	H29	H30	R 1
財政調整基金	56,102,482	56,132,625	40,114,480	24,423,384	22,427,002
福祉基金	71,673,797	70,086,066	70,165,767	68,996,362	68,414,883
退職給付積立金	41,444,523	69,393,557	62,217,795	63,192,362	42,613,221
計	169,220,802	195,612,248	172,498,042	156,612,108	133,455,106

基金	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
財政調整基金	22,196,868	36,496,058	38,719,478	45,666,222	44,374,932
福祉基金	67,967,815	69,085,842	69,337,108	69,456,963	124,490,417
退職給付積立金	46,362,160	50,155,977	47,404,649	49,115,400	51,654,760
計	136,526,843	155,737,877	155,461,235	164,238,585	220,520,109

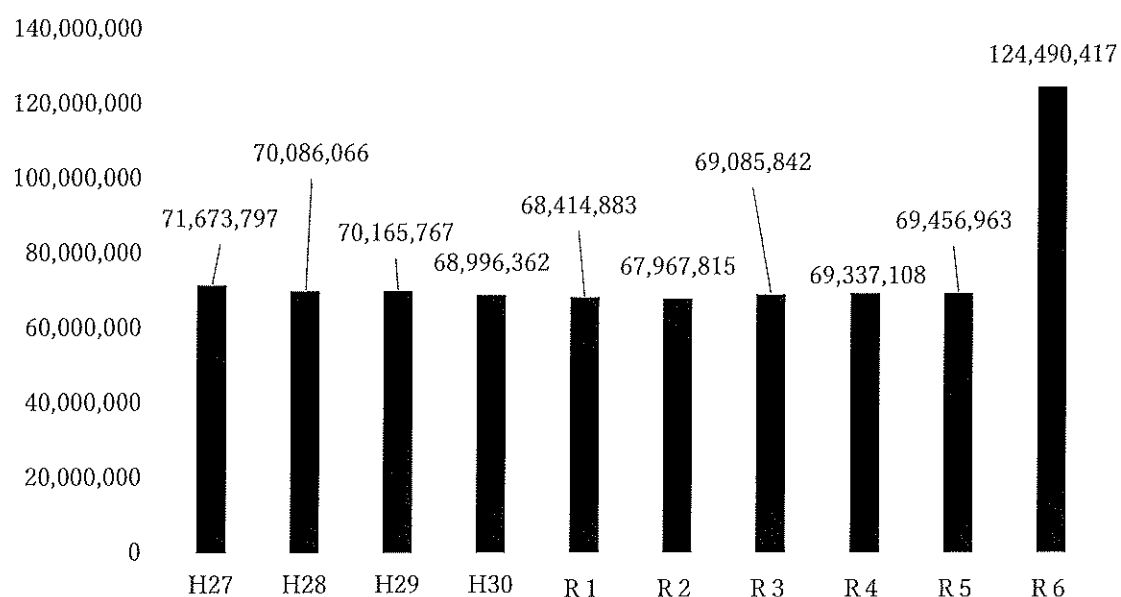
ア 財政調整基金



財政調整基金は、令和3年度以降積み立てることができていたが、令和6年度は人件費の増加や物価高の影響により取崩をし、約4,437万円となっている。

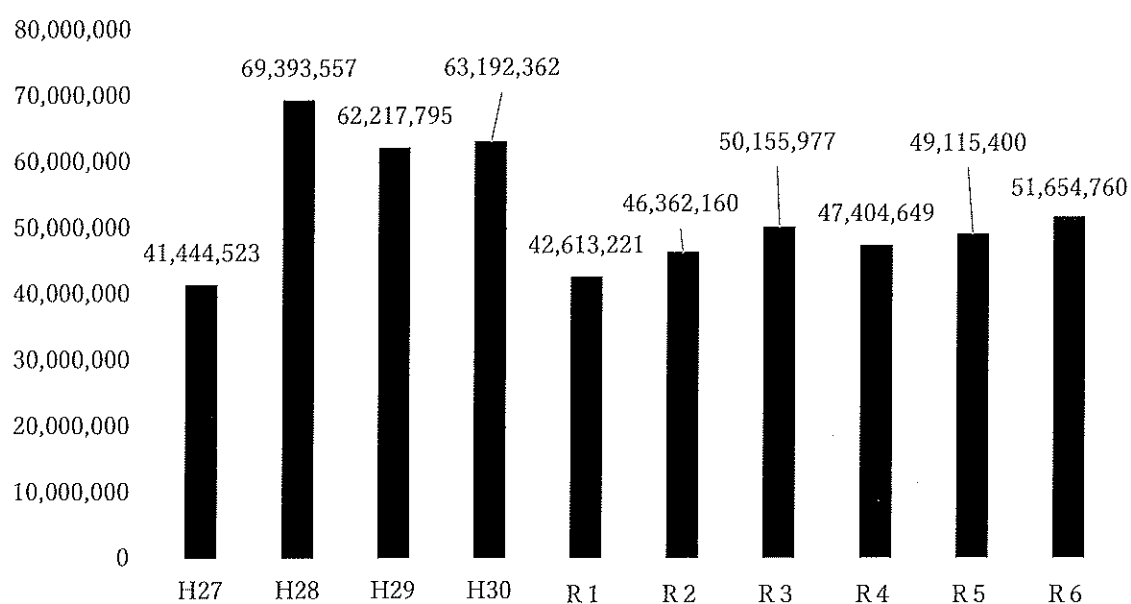
有事に備え、計画的に積み立てを行っていく必要がある。

イ 福祉基金



福祉基金は、各事業の過去数年分の前期末支払資金残高を令和6年度に積み立てたため増額しており、令和6年度末は約12,449万円となっている。

ウ 退職給付積立金



退職給付積立金は、令和元年度以降は徐々に積立ができており、令和6年度末で約5,165万円となっている。

2 令和6年度事業実施状況

法人運営事業		総務・会計グループ
区分	予算額	決算額
人件費	26,081,894円	23,835,598円
事業費	2,688,819円	2,438,800円
事務費	5,275,081円	4,632,757円
その他	6,163,206円	6,148,215円
計	40,209,000円	37,055,370円

1 事業内容

適正な法人運営を行うため、事務局組織体制の強化、財政基盤の強化、業務の効率化を図った。

災害等の非常事態に備えてシステム環境を再構築し、システム障害に対するデータの復旧対策を行った。

職員給与等の引上げ、育児・介護休業の取得等、それらに伴う規則規程を改正した。

財政基盤強化のため、各事業の前期末支払資金残高等を福祉基金、財政調整基金に積み立てた。

2 主な経費

諸謝金支出	358,000円
業務委託費支出	2,080,800円
労務契約（給与計算、社会保険事務等）	1,500,000円
税務契約（顧問、代理、書類作成、相談等）	550,000円
通信運搬費支出	615,500円
賃借料支出	1,847,348円
職員・公用車駐車場代	1,079,800円
基金積立資産支出	2,891,071円
積立資産支出	3,167,573円

3 主な概要

(1) 監事会

令和6年5月20日(月)

(2) 理事会

開催	年月日	議案番号	議 案
第1回	R6. 5. 28(火)	第1号	評議員の推薦について
		第2号	評議員選任・解任委員の選任について
		第3号	令和6年度第1回評議員選任・解任委員会の招集について
		第4号	令和5年度事業報告について
		第5号	令和5年度資金収支決算について
		第6号	令和6年度資金収支補正予算(第1号)について
		第7号	就業規則の一部改正について
		第8号	嘱託職員就業規則の一部改正について
		第9号	令和6年度定時評議員会の招集について
第2回	R6. 9. 20(金)	第10号	評議員の推薦について
		第11号	令和6年度第2回評議員選任・解任委員会の招集について
		第12号	令和6年度資金収支補正予算(第2号)について
		第13号	経理規程の一部改正について
		第14号	令和6年度第2回評議員選任・解任委員会の招集について
第3回	R6. 12. 12(木)	第15号	令和6年度資金収支補正予算(第3号)について
		第16号	令和6年度第3回評議員会の招集について
第4回	R7. 3. 6(木)	第17号	苦情解決第三者委員の選任について
		第18号	令和7年度事業計画について
		第19号	令和7年度資金収支予算について
		第20号	令和6年度資金収支補正予算(第4号)について
		第21号	令和7年度役員等賠償責任保険契約内容について
		第22号	育児・介護休業等に関する規則の一部改正について
第5回	R7. 3. 25(火)	第23号	令和6年度第4回評議員会の招集について

(3) 評議員会

開催	年月日	議案番号	議 案
第1回	R6. 6. 18(火)	第1号	令和5年度事業報告について
		第2号	令和5年度資金収支決算について

		第3号 第4号 第5号	令和6年度資金収支補正予算（第1号）について 就業規則の一部改正について 嘱託職員就業規則の一部改正について
第2回	R6.10.2(水)	第6号	令和6年度資金収支補正予算（第2号）について
第3回	R6.12.20(金)	第7号 第8号	理事の選任について 令和6年度資金収支補正予算（第3号）について
第4回	R7.3.19(水)	第9号 第10号 第11号 第12号	令和7年度事業計画について 令和7年度資金収支予算について 令和6年度資金収支補正予算（第4号）について 育児・介護休業等に関する規則の一部改正について
第5回	R7.3.31(月)	第13号	理事の選任について

(4) 評議員選任・解任委員会

開催日 令和6年6月6日（木）、9月20日（金）

(5) 会長表彰感謝被顕彰者審査委員会

開催日 令和7年3月6日（木）

表 彰 4名

感 謝 1名、1団体

(6) 職員の資質向上のための研修会への参加及び職員研修

福祉職員キャリアパス対応生涯研修4名受講

接遇研修（市主催）

メンタルヘルス研修

ハラスメント防止研修

(7) 規則規程等の改正

正規・嘱託職員就業規則

臨時職員の雇用等に関する要綱

事務局職員給与等支給規則

経理規程

クレジットカード取扱規程

被服等貸与規程

公式ホームページ運用要領

地域福祉推進事業		地域くらし支援グループ
区分	予算額	決算額
人件費	6,953,950円	6,601,181円
事業費	2,816,600円	2,349,887円
事務費	47,000円	22,580円
その他	6,478,450円	6,475,534円
計	16,296,000円	15,449,182円

1事業内容

会員募集を行い、地区社会福祉協議会への助成、高齢者や障がい児・者への支援、児童・生徒への福祉教育の提供及びボランティア育成を行った。

どこに相談をしたらよいかわからないことや悩みごとの相談、生活上の不安などを受け止める「ふくし総合相談窓口」を開設し、関係機関と連携を図り、相談対応を行った。

弁護士や司法書士による法律や制度等の一般的な説明・助言を行うことで、地域住民の問題解決に向けた相談業務を実施した。

各小学校区では、地区懇談会を開催し、地域住民と共に地域課題の抽出やニーズの整理を行った。また、各地区社会福祉協議会と協議し、サロンや講演会等を実施した。

2主な経費

消耗器具備品費支出	198,100円
賃借料支出	249,220円
諸謝金支出	418,150円
相談事業の相談員謝金	56,000円
福祉教育の講師謝金	332,000円
地域福祉えがおのまち計画策定委員	30,150円
業務委託費支出	587,865円
弁護士相談業務委託料	545,635円
司法書士相談業務委託料	33,000円

3 主な概要

(1) 会員募集

一般	14,879件	3,960,850円
協力	77件	167,000円
法人	11件	40,500円
計	14,967件	4,168,350円

(2) ふくし総合相談事業

相談者数 43人

(3) 弁護士相談事業

利用者数 84人

(4) 司法書士相談事業

利用者数 14人

(5) 社会福祉教育事業

実施小中高等学校数 10校

学校名	実施内容
東 小 学 校	車いす、手話、視覚障がい者ガイドヘルプ、高齢者擬似体験
南 小 学 校	車いす、手話
北 小 学 校	車いす、手話
神 守 小 学 校	車いす、手話、視覚障がい者ガイドヘルプ
蛭 間 小 学 校	車いす、手話
神 島 田 小 学 校	手話、視覚障がい者ガイドヘルプ
高 台 寺 小 学 校	点字
天 王 中 学 校	車いす、手話、点字、視覚障がい者ガイドヘルプ
神 守 中 学 校	車いす、手話、点字、視覚障がい者ガイドヘルプ
津島北高等学校	手話、点字、要約筆記（各2回）

ボランティアセンター活動事業		地域くらし支援グループ
区分	予算額	決算額
人件費	4,347,000円	3,777,143円
事業費	1,416,020円	1,150,859円
事務費	1,017,980円	943,912円
その他	2,379,000円	2,353,080円
計	9,160,000円	8,224,994円
1 事業内容		
ボランティア希望者への相談対応、関係機関への斡旋等や、ホームページやSNS、広報誌等でボランティアセンターの周知や、ボランティア活動の拡大に向けた取組を行った。		
高齢者の社会参加の促進と介護予防及び健康増進を目的に、ボランティア活動の支援を多角的に行った。		
2 主な経費		
消耗器具備品費支出	146,573円	
賃借料支出	173,027円	
車輛費支出	56,139円	
車検整備一式	38,996円	
交付金支出	316,000円	
地域振興券取扱店舗への交付		
広報費支出	925,650円	
ボランティア情報誌（ふくしだより）		
3 主な概要		
(1) ボランティアセンター相談・登録・斡旋事業		
登録団体数	40団体	
活動者数	1,486人	
(2) 介護支援ボランティア事業		
登録者数	93人	

共同募金配分金事業		地域くらし支援グループ
区分	予算額	決算額
事業費	3,934,850 円	2,751,586 円
事務費	1,001,150 円	935,800 円
その他	9,192,000 円	6,224,981 円
計	14,128,000 円	9,912,367 円
1 事業内容 赤い羽根共同募金運動で寄せられた募金を活用し、地域福祉の推進を中心に高齢者、障がいのある方、児童・青少年などを対象に、様々な福祉事業を実施した。		
2 主な経費		
消耗器具備品費支出		1,270,785円
赤い羽根協賛児童・生徒作品コンクール参加賞		523,600円
備蓄用毛布		10,615円
簡易トイレ		13,530円
レスキューテント		135,850円
トランシーバー		44,814円
諸謝金支出		55,000円
ふくししくん広場講師料		
業務委託費支出		1,155,510円
わくわく体験ツアー		296,060円
もみじ組の旅		435,450円
ふれあい子どもお楽しみ会		250,000円
広報費支出		925,650円
返還金支出		4,474,008円
助成金支出		1,246,455円
13団体へ助成		497,455円
災害支援ボランティア活動助成金		749,000円
器具及び備品取得支出		496,518円
災害備品保管用物置		

3 主な概要

(1) もみじ組の旅

ひとり暮らし高齢者の方を対象に、集団での外出機会を提供し、参加者間の交流や親睦を図った。

実施日 令和6年11月21日（木）

行先 岡太神社・大瀧神社（参拝）、武生・レストラン瀧雅（昼食）、
越前和紙の里「紙すき体験」（体験）、日本海さかな街（観光）

参加者数 78人

(2) ふくししくん広場

親子等で楽しめる催しやおもちゃ遊びを通して触れ合う場の提供や、親同士のネットワークづくりの支援、催しを通してボランティア等の活躍の場を提供した。

実施日 毎月1回開催

場所 津島市総合保健福祉センター 世代間交流室

参加者数 146人

(3) ふれあい子どもお楽しみ会

乳幼児と障がいのある方及びその家族の交流を深め、情操等の向上、健全育成を図ることを目的に、音楽や演劇等に触れる機会を提供した。

実施日 令和6年12月8日（日）

場所 津島市文化会館大ホール

内容 クラウンエンターテイメントによるコミカルサーカスショー

参加者数 398人

(4) わくわく体験ツアー

夏休み期間を利用して家族のふれあいを深める機会を提供するとともに体験を通じて福祉を学び、地域における「たすけあい」の意識を高める機会を提供した。

実施日 令和6年8月20日（火）

行先 社会福祉法人中部盲導犬協会、名古屋市科学館

参加者数 46人

(5) 赤い羽根協賛児童・生徒作品コンクール

「社会福祉」等の意味を含む書道・ポスターを市内の小中学生が作成し、提出された作品を展示した。

展示期間 令和6年11月2日（土）～ 11月4日（月）

場所 津島市児童科学館2階

応募総数 2,731作品

(6) 福祉車両・車いす貸出事業

津島市在住の車いす使用者を対象に、日常生活での便宜を図ること及び社会福祉の増進を図ることを目的として、福祉車両が必要な方に福祉車両を貸し出した。

怪我や病気で一時的に車いすが必要な方及び介護が必要な方に車いすを貸し出した。また、地区社協でも貸出事業を実施した。

① 福祉車両貸出

延べ利用件数 82件

② 車いす貸出

延べ利用件数 88件

(7) 各種福祉団体補助金事業

福祉団体やボランティア団体へ活動の補助金を交付した。

補助団体数 13団体

(8) 災害対策支援事業

災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施及び発災に備えて資機材等を整備した。

① 第1回

実施日 令和6年7月27日（土）

内容 ニーズ受付

参加者数 30人

② 第2回

実施日 令和6年12月10日（火）

内容 災害初動マニュアル内容検討

参加者数 17人

③ 第3回

実施日 令和7年2月2日（日）
内容 災害 VC 設置運営訓練（演習）
参加者数 61 人

(9) 福祉まちづくり支援事業

地域のコミュニティに講師を紹介し、サロン活動等の実施につなげた。

法外援護事業		地域くらし支援グループ
区分	予算額	決算額
事業費	5,000円	1,974円
その他	3,400,000円	3,107,772円
計	3,405,000円	3,109,746円
1 事業内容 不慮の災害、疾病のため、不時の支出を要する生活困窮者に一時的な貸し付けを行った。 2 主な経費 貸付金支出 1,565,037円 財政調整基金積立資産支出 1,542,735円 3 主な概要 貸付件数 47件		

歳末たすけあい配分金事業		地域くらし支援グループ
区分	予算額	決算額
事業費	1,462,000円	715,694円
その他	500,000円	499,060円
計	1,962,000円	1,214,754円
1 事業内容 赤い羽根共同募金運動にて、当年度に寄せられた募金を活用し、地域福祉の推進を中心に高齢者、障がいのある方、児童・青少年などを対象に、様々な福祉事業を実施した。 2 主な経費 賃借料支出 47,230円 立春のつどい会場使用料 諸謝金支出 60,000円 立春のつどい公演料 交付金支出 537,000円 ひとり親家庭応援事業の食事券 返還金支出 499,060円 3 主な概要 (1) 立春のつどい ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の方の地域参加の促しや交流機会を設け、外出する機会を提供した。 実施日 令和7年2月12日（水） 場所 津島市文化会館 内容 漫談・太鼓演奏 参加者数 166人 (2) ひとり親家庭応援事業 児童扶養手当や遺族年金を受給しているひとり親家庭に対し、親子の交流促進を図ることを目的に、食事券を配付した。また、子ども食堂団体と協力し、食品や生活用品の配付を行った。 配付人数 176人		

生活困窮者自立支援事業		地域くらし支援グループ
区分	予算額	決算額
人件費	16,533,400円	15,361,563円
事業費	2,166,000円	1,867,423円
事務費	87,000円	14,237円
その他	4,026,600円	4,025,843円
計	22,813,000円	21,269,066円
1 事業内容 自立相談支援事業（住居確保給付金含む。）、家計改善支援事業及び就労準備支援事業を実施している。相談者に寄り添いながら、他の専門機関と連携して解決に向けた支援を行った。 家計改善支援事業は、家計状況の「見える化」と根本的な課題を把握し、相談者が自ら家計を管理できるように家計の立て直しのアドバイスを行った。 就労準備支援事業は、直ちに就労が困難な方に一般就労に向けた基礎能力を養いながら就労に向けた支援を行った。 2 主な経費 消耗器具備品費支出 64,846円 賃借料支出 734,139円 租税公課支出 859,000円 消費税 3 主な概要 (1) 新規相談者数 147人 延べ相談件数 1,281件 住居確保給付金利用世帯数 0世帯 (2) 家計改善支援事業利用者数 7人 延べ相談件数 46件 (3) 就労準備支援事業利用者数 2人 延べ相談件数 106件		

生活福祉資金貸付事業		地域くらし支援グループ
区分	予算額	決算額
人件費	9,634,000円	1,610,788円
事業費	915,000円	635,590円
事務費	44,000円	8,822円
計	10,593,000円	2,255,200円
1 事業内容 所得の少ない世帯、障がい者や介護を要する高齢者のいる世帯に対して、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その世帯の生活の安定と経済的自立を図った。 緊急小口資金等の特例貸付を利用した方に対するフォローアップ支援を行った。		
2 主な経費 消耗器具備品費支出 194,296円 賃借料支出 179,627円 手数料支出 222,860円		
3 主な概要 延べ相談件数 203件 福祉費の貸付 生活保護受給者のエアコン購入費 7件 生活保護受給者の洗濯機購入費 1件 生活保護受給者の冷蔵庫購入費 1件 教育支援資金の貸付 大学・高校の入学金・授業料等 4件 緊急小口資金 1件		

くらし資金貸付事業		地域くらし支援グループ
区分	予算額	決算額
貸付事業費	400,000円	0円
その他	407,000円	0円
計	807,000円	0円
1 事業内容 生活の不安定な低所得世帯に対して、日々のくらしの維持に必要なつなぎ資金及び不時の出費のため必要とする小口資金（生活費・医療費・その他くらしを営むうえに必要と認められる資金）を貸付け、その生活を保全し経済的自立を助長する制度だが、くらし資金貸付事業としての利用者はなかった。		

生活支援コーディネーター事業		地域くらし支援グループ
区分	予算額	決算額
人件費	10,126,000円	8,995,182円
事業費	3,186,000円	2,904,958円
事務費	41,000円	23,650円
その他	2,696,000円	2,638,911円
計	16,049,000円	14,562,701円
1 事業内容		
高齢者の生活支援、介護予防サービスの体制整備を推進していくことを目的とし、地域の担い手や行政、関係機関と連携した支援提供体制が構築できるようにコーディネートを行った。		
2 主な経費		
消耗器具備品費支出	157,026円	
保険料支出	137,454円	
賃借料支出	661,816円	
公用車リース料	262,680円	
諸謝金支出	1,139,700円	
つしま家事サポーター活動手当	1,119,700円	
手数料支出	206,886円	
3 主な概要		
(1) 生活支援サービスの提供		
つしま家事サポーターによる、要支援の方やその状態に近い方を対象に、利用される方のお住まいで調理や掃除などの生活支援サービスの提供。		
延べ利用者数	650人	
延べ利用件数	2,769件	
(2) つしま家事サポーターの養成		
養成講座開催数	6回	
養成者数	19人	
登録者数	17人	

(3) つしま健活くらの開催

地域で活動されている方を講師に招き、介護予防に取り組めて気軽に集まる
ことができる「居場所」を広く周知することを目的に開催した。

開催回数 5回

(4) 社会資源リストの活用

高齢者が日常の困りごとに対して相談できる場所の連絡先を集めた冊子の更
新を行い、各コミュニティ等の関係施設へ配付した。

介護者派遣事業		障がい福祉グループ
区分	予算額	決算額
人件費	14,000円	9,203円
事業費	9,000円	697円
その他	475,000円	469,954円
計	498,000円	479,854円
1 事業内容 津島市社会福祉協議会とサービス等の利用契約を締結している方に対し、介護保険サービスや、障がい福祉サービスなどの公的な福祉サービスでは対応できない部分の援助を行い、住み慣れた家や地域で安心して暮らせるようサービスを提供した。 2 主な経費 業務委託費支出 297円 租税公課支出 400円 消費税 3 主な概要 延べ利用者数 48人		

日常生活自立支援事業		地域くらし支援グループ
区分	予算額	決算額
人件費	298,000円	118,807円
事業費	84,000円	46,699円
事務費	23,000円	0円
その他	370,000円	369,097円
計	775,000円	534,603円
1 事業内容 日常生活に不安があり、判断能力の不十分な認知症高齢者、精神障がい者、知的障がい者に対し福祉サービス利用援助及び日常生活の金銭管理を行った。 2 主な経費 保険料支出 29,139円 賃借料支出 6,635円 保守料支出 10,925円 3 主な概要 契約者数 6人 支援回数 109回		

障がい者相談支援事業		障がい福祉グループ
区分	予算額	決算額
人件費	45,605,650円	37,345,888円
事業費	6,992,227円	6,004,613円
事務費	364,773円	124,440円
その他	21,217,350円	17,928,192円
計	74,180,000円	61,403,133円

1 事業内容

計画相談については、障がいのある方が地域において自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、福祉サービス等の調整や相談支援を行った。

一般相談については、障がいのある方の相談に応じ、情報の提供及び助言を行うとともに、関係機関との連絡調整など必要な援助を行った。

基幹相談支援センターについては、地域において障がい福祉に関する相談・支援の中心的な役割を担う機関として、地域の実情に応じて総合的・専門的な相談支援、地域の相談支援体制強化の取り組み、地域移行・地域定着推進の取り組み、権利擁護・虐待防止の啓発を行った。

基幹相談支援センターの業務内容の1つである津島市障がい者総合支援協議会事務局については、地域の関係者が集まり、個別の相談支援の事例を通じて明らかになった地域課題を共有し、その課題を踏まえた地域のサービス基盤の整備を着実に進めていく事を目的とした会議を開催した。また、障がい福祉サービス事業所職員を対象とした研修を開催した他、障がいのある方に働く場などの情報発信を行う「はたらく情報発信フェア」、「障がいを知り、誰もが地域でともに生きるまち」を目的とした「チャレンジド・フェスティバル」を開催した。

2 主な経費

消耗器具備品費支出	485,631円
保険料支出	260,499円
賃借料支出	1,708,954円
福祉見聞録システム	844,800円
車輦費支出	214,201円
車検整備一式 2台	77,936円
諸謝金支出	30,000円
通信運搬費支出	709,877円

租税公課支出	1,463,500円
消費税	1,446,900円
印刷製本費支出	47,520円
基幹相談支援センターパンフレット	7,920円
負担金支出	350,000円
津島市障がい者総合支援協議会運営費	

3 主な概要

(1) 計画相談

サービス利用計画作成件数	382件
モニタリング件数	1,181件

(2) 一般相談

延べ相談件数 4,843件

(3) 基幹相談支援

① 総合的かつ専門的な相談支援に関すること

対応者数 66名

延べ相談件数 182件

② 地域の相談支援事業者等の人材育成の支援

市内相談支援専門員及び居宅介護支援専門員向けに研修を開催。

市内各相談支援事業所からの相談に対応した。

③ 地域の相談機関との連携強化

民生児童委員やこども家庭センター、介護保険分野が開催する会議に参加した。

近隣市町村と基幹相談支援センター事業の情報共有を行った。

出前講座依頼に対応した。

④ 地域移行及び地域定着の促進に関すること

北津島病院と好生館病院の現状を確認し、情報共有を行った。

⑤ 権利擁護及び虐待防止に関すること

成年後見制度の利用支援 7件

障がい者に対する虐待を防止するための取り組み 15件

⑥ 津島市障がい者総合支援協議会

各専門部会による事例検討や研修開催の他、福ふくしょっぷや市役所販売

の実施、成長の記録説明会の開催、事業所見学会の実施等を行った。

事例検討より抽出された地域課題については、運営会議で再度検討し、各専門部会でより具体的な課題の検討を依頼した。地域課題の抽出・検討・整理の他、日中サービス支援型共同生活援助事業の評価を行った。

ア) 会議

協議会（本会）	全3回
全体会	全1回
運営会議	全12回
事務局会議	全11回
生活支援部会	全9回
就労支援部会	全17回
発達支援部会	全14回
相談支援部会	全10回
津島市特別支援教育連絡会	全2回

イ) 研修

「令和6年度 能登半島地震災害支援報告」	68人
「虐待防止研修」	37人
「障害者の性について」	27人
「発達障がいのある子の理解と支援の考え方」	26人
「家族支援について」	28人
「精神科医療機関のソーシャルワーカーの業務と連携」	16人
名古屋市総合リハビリテーションセンター見学会	11人

ウ) 行事

はたらく情報発信フェア（セミナー同時開催）

実施日 令和6年6月29日（土）

参加事業所 32事業所

来場者数 231人

チャレンジド・フェスティバル

実施日 令和7年2月22日（土）

参加事業所 22事業所

来場者数 1,300人

障害福祉サービス事業		障がい福祉グループ
区分	予算額	決算額
人件費	13,760,000円	9,919,498円
事業費	1,320,000円	1,118,459円
事務費	147,000円	118,282円
その他	3,398,000円	3,397,278円
計	18,625,000円	14,553,517円
1 事業内容 障がいのある利用者が、その方の身体状況や生活環境に応じて、入浴、排泄、食事の介助、調理、洗濯及び掃除等の家事、生活等に関する相談や援助、また外出など移動の介護など、社会生活を総合的に支援するサービス提供を行った。 2 主な経費 被服費支出 139,200円 消耗品器具備品費支出 77,615円 保険料支出 141,454円 賃借料支出 377,879円 保守料支出 70,242円 3 主な概要 延べ利用者数 374人		

移動支援事業		障がい福祉グループ
区分	予算額	決算額
人件費	937,000円	831,591円
事業費	73,000円	29,157円
事務費	23,000円	0円
その他	1,741,000円	1,364,273円
計	2,774,000円	2,225,021円
1 事業内容 障がいのある利用者が、社会生活上必要不可欠な外出や余暇活動など社会参加のための外出援助を行った。利用者と地域との結び付きを大切にし、関係市町村、相談支援事業所、他の居宅介護事業者等との連携を図り、総合的なサービス提供に努めた。 2 主な経費 保険料支出 14,379円 賃借料支出 13,788円 3 主な概要 延べ利用者数 84人		

居宅介護支援事業		在宅支援グループ									
区分	予算額	決算額									
人件費	14,335,000円	14,003,940円									
事業費	1,360,000円	1,290,099円									
事務費	81,000円	18,846円									
その他	698,000円	697,406円									
計	16,474,000円	16,010,291円									
1 事業内容 介護保険サービスの利用を希望されるかたの面談、サービス事業所や医療機関との連携、毎月のモニタリング・請求業務を行った。 介護予防支援についても包括支援センターからの委託を受け、利用者の支援を行なった。 2 主な経費 消耗器具備品費支出 115,832円 保険料支出 95,344円 賃借料支出 658,252円 車両費支出 150,498円 車検整備一式 99,145円 通信運搬費支出 106,075円 3 主な概要 介護度別延べ利用者数 <table border="1"> <tr> <th></th><th>要介護</th><th>要支援</th></tr> <tr> <td>実人数</td><td>74人</td><td>55人</td></tr> <tr> <td>延べ人数</td><td>619人</td><td>510人</td></tr> </table>				要介護	要支援	実人数	74人	55人	延べ人数	619人	510人
	要介護	要支援									
実人数	74人	55人									
延べ人数	619人	510人									